

尼崎文化協会より

第16号 令和三年三月中旬発行

1、『ともしびの賞』の受賞について

副会長 玉垣喜三

昨年（令和2年）12月10日、神戸市にある兵庫県公館の大会議室に於いて、兵庫県 知事より掲記の「ともしびの賞」を頂きました。

本賞は、昭和50年（1975年）に創設された制度で、その目的は、「郷土文化の向上に貢献した者を表彰することにより、県民文化の高揚と豊かな郷土づくりに資する」とされております。今回（令和2年）は46回目に当たりますが、その間の受賞者は、全県で団体を含め892名であり、その内尼崎市に關係する受賞者は、37名でありました。

今回偶々私の場合は、故田中正三会長が急逝され、後を会長代行として、当協会創立70周年の記念事業（戸田氏鉄公の顕彰碑の建立と記念誌の発行など）を引継ぐことになり、それらの実績が他の候補者より優れていたという事であったと聞いております。

田中正三前会長がご健在であれば、田中正三様が表彰されたものと思っております。

また今回は、和田会長と田中事務局長両氏の力強いあと押しがあったことも大きかったと感謝致しております。副賞として、出石焼の立派な青磁皿を頂きましたが、分割することも出来ず、代りに心ばかりの寄付を文化協会宛にさせていただきました。なお、過去の受賞者の中で当協会と關係の深い方では、岡本静心様（副会長の岡本元興氏の祖父）や田中大庄次郎様（事務局長の田中正喜氏の祖父）がおられますことを記して受賞のご報告と致します。有難うございました。

☆『ともしびの賞』

授賞理由

右掲載は、「ともしびの賞」贈呈式の受賞者の名簿から抜粋したものです。

永年にわたり尼崎文化協会の役員として多彩な事業を展開し地域の魅力を発信するとともに文化団体の育成に努めるなど地域文化の向上に尽くされました

2、令和3年1月以後の行事

（1）初詣 令和3年1月8日（金）午前10時30分から11時解散

場所 貴布禰神社



毎年初詣三社参りのバス旅行を計画していましたが、コロナ禍で三社参りは断念し、尼崎総氏神 貴布禰神社に参拝しました。

参加者は、和田会長、玉垣（ご夫婦）、宮崎、喜多副会長、石橋監事、加島、森（清）理事、芝、小川会員、藤田（ご夫婦）、田中（事務局）、また尼崎市叙勲者の会から藤原様が出席されました。

（2）契沖顕彰短歌大会について

令和3年2月14日開催予定の第18回契沖顕彰短歌大会がコロナ感染防止のためやむなく中止になりました。本年は、小学生8,334名、中学生2,694名、高校生318名、一般74名そして新規に大学生が124名全体で11,942首の応募がありました。その中から下記の通り、3名の方が尼崎文化協会会長賞を受賞されましたのでお知らせいたします。

（一般の部）和歌山県和歌山市 廣田 明代

爺ちゃんてどんな人だった中二聞く悪くも言えずやさしかったよ

（生徒の部）尼崎市立日新中学校 2年 大石 煌

風の音走る風景どこまでもラスト一周ラストスパート

（児童の部）尼崎市立武庫小学校 5年 前田 桃花

弟が雷なるとへそかくすそのかわいさよいついつまでも

（3）岡本元興副会長（寺町大覚寺住職）が、唐招提寺長老に

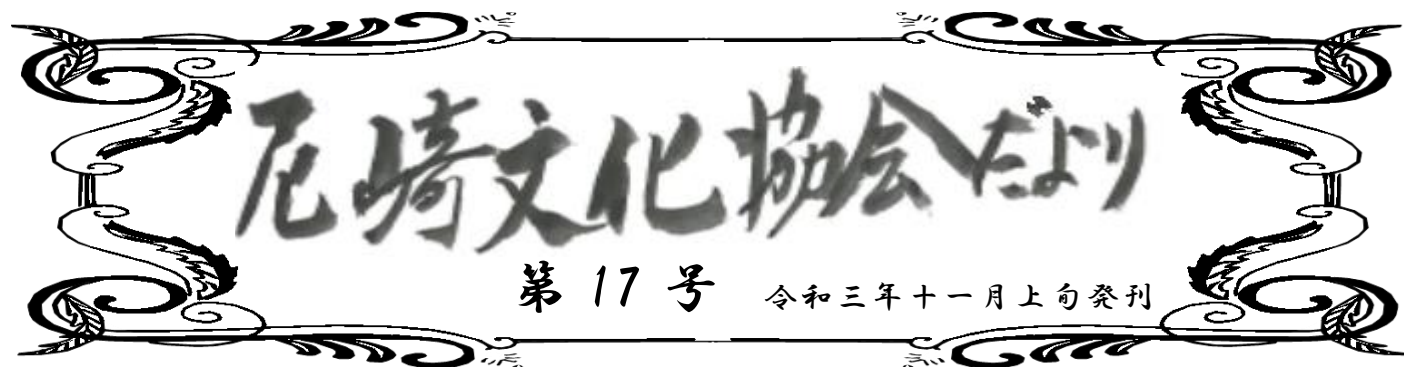
神宗総本山・唐招提寺（奈良市）は3月6日、寺のトップにあたる第89世長老に、当会の岡本元興副会長が選任されたと発表。同宗管長を兼ね、任期は、本年4月1日から5年です。

3、今後の事業予定

①監査会 4月上旬 ②役員会 4月下旬

③総会 5月初旬 尼崎商工会議所

編集 宮崎 恒彰 芝 芳子 田中 正喜



1、尼崎文化協会公式サイトの立ち上げ

辻川 敦

今年度から当会に加えて頂いた辻川です。ふだんは、尼崎市立歴史博物館の3階にある地域研究史料室“あまがさきアーカイブズ”で働いております。

さて、当会の公式サイト（ホームページ）については、かねてから当会の課題であったと伺っておりますが、今年度に入ってこれを実現すべく和田会長、田中事務局長そして重田幹事らと共に何回か検討させて頂き、漸くこのたび立上げの運びとなりました。

<無料サービスを選択>

予算案は、IT 事業者に委託してサイトを立ち上げる予定でしたが、最初の公式サイト会議の場で、Wix というサービスを利用することになりました。Wix というのは、イスラエルに本社を置き、世界中で利用されているウェブサイトサービスです。今回は、無料サービスを選択しました。

<サイトの概要>

サイトの冒頭には、和田会長のご挨拶と尼崎城の夜景写真を載せ、リンクページには会則を掲載しました。また、今後当会が主催する行事や関係団体の諸行事、会員の取り組みなどを告知するほか、周年記念誌などの刊行物の紹介もしています。さらに、会員が気軽に投稿できるコーナーも設けました。手始めとして、和田会長からご投稿いただいた紫陽花の写真とエッセイを載せております。

<今後に向けて>

現状は、新型コロナウイルス感染症のため、十分な活動が出来ていない当会ではありますが、感染が収束して行くに伴い、この公式サイトやSNSを活用して、当会の活動を広く告知していければと思います。また、尼崎の文化情報も発信し、さらに関係する内外各方面とも連携を深めたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、ぜひ当サイトやSNSにアクセスして頂き、皆さまが関わっておられる取り組みをご紹介頂き、エッセイなどを投稿して頂きますようお願いいたします。また、ご友人や関係団体へも、当サイトのことをお知らせ頂ければさいわいです。

尼崎文化協会公式サイト <https://amagasakibunkakyok.wixsite.com/website>
同公式 Facebook <https://www.facebook.com/AmagasakiBunkaKyokai>

同公式 Twitter

https://twitter.com/Ama_Bunkakyokai

Mail

amagasakibunkakyokai@gmail.com

投稿のご希望やご意見・ご要望は、上記メール（辻川）までお寄せください。

2、令和3年度通常総会（書面決議）後の行事

（1）阪神南文化振興団体連絡協議会・総会は書面決議に

去る7月20日（火） 規約の改正、令和2年度実施事業報告、令和3年度実施計画等の議事が承認された。

（2）役員会開催

去る9月14日（月）午前10時から尼崎小田南生涯学習プラザにて、役員会を開催。議事①ホームページ公式サイトの内容②新春初詣バスについては計画案を、次回提出し検討とした。②尼崎薪能（9月21日17時30分から尼崎城下）は中止出席者和田会長（Web）玉垣、宮崎、喜多副会長、石橋、森、芝、加島、辻川、小川理事、藤田会計、栗田事務局、田中事務局長

（3）中止、延期行事

①大近松祭

（4）初詣バス旅行

初詣バス旅行について春以降に延期し、昨年同様貴布禰神社参拝のみとする。

（5）令和3年度尼崎市民芸術賞

和田桐山会長が、11月1日に令和3年度尼崎市民芸術賞[活動分野：美術（陶芸)]を受賞されました。 心よりお喜び申し上げます。

3、今後の事業予定

（1）初詣 日時 令和4年1月7日（金）午前10時30分から11時解散予定

場所 貴布禰神社

添付返信はがきに出欠をご記入し、12月25日までにご投函ください。

（2）契沖顕彰短歌大会について

令和3年2月19日（土） 13時30分より 契沖顕彰短歌大会が中央北生涯学習プラザにて開催予定。

（3）その他予定

①監査会 4月上旬 ②役員会 4月下旬

③総会 5月初旬 尼崎商工会議所

編集 宮崎 恒彰
田中 正喜

尼崎文化協会より

第18号 令和四年三月下旬発刊

1, 会長挨拶

会長 和田 桐山

会員の皆様には文化協会の運営にご協力いただきお礼申し上げます。

コロナ禍の中で思うような日常ではなくストレスのたまるこの2年余りではありますが、

今年は少しでも元気の出るようなことを考えていかなければなりません。しかしここに

きて世界では大変な事態が進行しています。独裁者によって戦争による現状の変更が行

われ、多くの人命が失われる事態となりました。自分たちの力で国を守ることができな

ければこのような事態に陥るという現実を見せつけられた気がいたします。 平和ボケの

日本がこの先、第二のウクライナにならないことを願うばかりです。

さて当会、今年から来年にかけて、以前からの懸案でありました信楽のミホミュージア

ムや唐招提寺御影堂の落慶記念バスツアー等も計画に入れ実行できるようにと考えており

ます。会員各位少しでも明るく前を向いてピンチをチャンスに変えられますよう踏ん張っ

ていただきたいと願っております。

2、令和4年1月以後の行事

(1) 初詣 令和3年1月8日(金) 午前10時30分から11時解散

場所 貴布禰神社

毎年初詣三社参りのバス旅行を計画しておりましたが、コロナ禍で三社参りは断念し、
尼崎総氏神 貴布禰神社に参拝しました。

参加者は、和田会長、玉垣(ご夫婦)、宮崎、喜多副会長、加島、森(清)、重田理事、
田中(秀)(ご夫婦)白井、小川、西浦、藤田(ご夫婦)会員、田中(事務局)。

また、尼崎市叙勲者清風会から、藤田会長(ご夫婦)藤原様が出席されました。



(2) 契沖顕彰短歌大会について

令和4年2月19日開催予定の第19回契沖顕彰短歌大会がコロナ感染防止のためやむなく中止になりました。本年は、小学生9,051名、中学生2,611名、高校生468名、一般80名そして新規に大学生が94名全体で12,572首の応募がありました。その中から下記の通り、3名の方が尼崎文化協会会長賞を受賞されましたのでお知らせいたします。

(一般の部) 兵庫県伊丹市 友次 洋子

打ち上げの席ではほほえむ一葉をわれの遺影にせんと取りおく

(生徒の部) 関西大学第一中学校 3年 菅原 大暉

午後6時日が暮れた時自然から受け取りました秋のはじまり

(児童の部) 尼崎市立難波小学校 3年 芝崎 茉央

お母さんいつもこんだて聞いてくるリクエストしたらことわるくせに

(3) 尼崎薪能

令和4年5月27日(金) 大物公園 にて開催予定

3、今後の事業予定

①監査会 4月上旬 ②役員会 4月下旬

③総会 5月初旬 尼崎商工会議所

編集 宮崎 恒彰 田中 正喜